



穴をあけて綴じてください



神楽殿で舞う三匹獅子舞（撮影・野津 龍）

お祭りは6月7日(土)・8日(日)

ことしもかけ陰祭りです。そのため本社神輿の渡御はありません。

元気はつらつたる子供獅子舞

長い伝統を誇る六郷神社の三匹獅子舞は、次のとおり神楽殿で行われます。全国でも数少ない子供獅子舞であり、貴重な郷土芸能です。

7日(土) 午後2時と5時からの2回

8日(日) 午後1時と3時と5時からの3回

約1ヵ月間、足利幸吉翁の指導を受け、毎晩汗を流して練習に励んだ少年少女の演舞に、大きな拍手と声援をおくりましょう。

にぎやかな正調六郷ばやし

崇敬会が育成に努めている「正調六郷ばやし」が、7日・8日の両日、神門前の棧敷で、木村和治郎師匠のリードによってにぎやかに青少年が交替で演奏し、お祭りのムードを大いに盛り上げます。

6月21日
第14回

会員総会のご案内

第14回定期総会を左記のとおり開催いたします。会員皆様の親睦を兼ねた集いです。似顔絵の楽しいお話と席画の実演もあります。ぜひ、お揃いでお出かけ下さい。

記

- 一、日時 平成15年6月21日(土) 午後1時
- 二、場所 大田区東六郷3-10-18 六郷神社社務所
- 三、会議の内容 (約20分)

①ご報告すること

平成14年度会務及び事業報告

②ご審議いただくこと

- 1、平成14年度決算報告
- 2、平成15年度事業計画案及び収支予算

四、親睦会(約60分)

①「似顔絵」のお話と実演

示現会・日本美術家連盟会員

後藤 藤利 夫画伯

紹介 森田 賢治 会長

②懇親茶話会

ごゆるりとご歓談ください。

平成14年度会務 および事業報告

平成15年3月31日現在、本会の会員数は、個人861名、法人87社。本年度は、常任理事会を10回、理事会を1回開催し、会報26・27号を発行しました。

- 平成14年4月1日 第134回ついたち早朝まいり。講話「結びの文化」喜多絹子
- 5月1日 第135回ついたち早朝まいり。講話「福島県の桜」森田賢治
- 5月24日 会報26号発行
- 6月1日 第136回ついたち早朝まいり。講話「幻のアーニイパイル」森 繁春
- 6月8・9日 六郷神社祭礼。社務所に献花。神門前の屋台で六郷ばやし演奏。
- 7月1日 第137回ついたち早朝まいり。講話「相撲について」高橋準一
- 8月1日 第138回ついたち早朝まいり。講話「闇市の話」宮崎 豊
- 9月1日 第139回ついたち早朝まいり。講話「健康の秘訣」持田博美
- 10月1日 第140回ついたち早朝まいり。講話「道徳について」森田賢治
- 11月1日 第141回ついたち早朝まいり。講話「玉串の捧げ方、七五三詣」鈴木祐一
- 11月3日 崇敬会大祭(創立記念日) 献木式

☆平成十九年、六郷神社は鎮座九百五十年大祭を迎えます。

監 査 報 告 書

監査の結果、平成14年度決算報告書は、正確であることを認めます。

平成15年5月6日

監 事 林 孝 嘉 ㊟
監 事 足 利 幸 吉 ㊟

六郷神社崇敬会

平成15年度収支予算案

(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)

(1) 収入の部				円
個人	会	費		1,575,000
法人	会	費		430,000
雑	収	入		220,000
前	繰	越		158,007
合		計		2,383,007

(2) 支出の部				円							
協	賛	金		700,000							
備	品	費		240,000							
会	報	行	費	600,000							
事	務	信	費	65,000							
通	議	費		170,000							
会	議	費		85,000							
郵	便	振	替	払	込	料		25,000			
消	耗	品		費		70,000					
渉	外	事		費		80,000					
催	刷			費		210,000					
印				費		35,000					
雑				費		10,000					
950	年	祭	準	備	金	繰	入	費		50,000	
予	備									43,007	
合										計	2,383,007

六郷神社崇敬会

平成14年度決算報告書

(平成14年4月1日から平成15年3月31日まで)

(一) 収支計算書

(1) 収入の部				円
個人	会	費		1,542,000
法人	会	費		370,000
雑	収	入		218,788
前	繰	越		50,635
合		計		2,181,423

(2) 支出の部

協	賛	金		693,000				
会	報	行	費	588,000				
事	務	費		64,511				
通	信	費		168,232				
会	議	費		83,032				
郵	便	振	替	払	込	料		23,140
消	耗	品		費		79,355		
渉	外	事		費		106,400		
催				費		207,516		
雑				費		10,230		
次	期	繰	越	金		158,007		
合				計		2,181,423		

(二) 次期繰越金内訳(平成15年3月31日現在)

現	金		20,759								
郵	便	振	替	貯	金	6,325					
城	南	信	用	金	庫	普	通	預	金	130,923	
合										計	158,007

(三) 別途積立金

城南信用金庫定期預金 301,258

平成15年度事業計画(案)

(1) 秋の日帰りバス旅行
紅葉シーズンの楽しいコースを企画中。決
定次第、お知らせいたします。

に続き、神楽殿前の添釜(野点)
12月1日 第142回ついたち早朝まいり。講話
「鉄道唱歌」東澤修二
12月7日 北武蔵の旧官幣中社「金鑽神社」
参拝。バス1台32名。神流川かんなの岸に一本
の寒桜が咲いていた。昼食は小川町の名
物「忠七めし」。帰路、川越市内散策。
12月27日 会報27号発行
平成15年1月1日 恒例により歳旦祭に清酒
2斗樽奉納。氏子青年会の協力で初詣客に
振る舞う。
1月3日 恒例の会員初詣昇殿参拝。神社よ
り神酒と「一陽来復」の特別神札が授与され、
本会から御供物と甘酒進上。
2月1日 第143回ついたち早朝まいり。講話
「80歳になりました」森 繁春
3月1日 第144回ついたち早朝まいり。講話
「二十四節気について」喜多絹子

(2) 六郷神社ついたち早朝まいり(定例)昇殿参拝後、会員有志による10分程度の短い講話を続けます(元日を除く)。

時間 午前7時集合(四季を通じて)

(3) 崇敬会大祭(創立記念日)の献木式と添釜

11月3日午前10時30分からの献木式に続き、

大日本茶道協会のみなさんの奉仕により、

添釜(野点)を行います。

(4) 六郷ばやしの育成(継続)

(5) 平成16年1月3日六郷神社初詣(恒例)

会員とその家族の昇殿正式参拝です。

第1回昇殿参拝 午前10時30分

第2回昇殿参拝 午前11時30分

(6) 崇敬会会報28・29号発行



三匹獅子舞の獅子頭と太鼓

夏越の祓と茅の輪くぐり

「水無月の夏越の祓する人は千とせの命延ぶといふなり」という古歌があるように、茅がやを太くより結んだ大きな輪をくぐれば、災厄をまぬかれると伝えられています

六郷神社でも6月28日から社前に古式ゆかしい茅の輪が設けられます。くぐり方は、茅の輪のそばに掲示されています。茅の輪をくぐって、健康で明るく平穏な日々を送りましょう。

六郷神社三匹獅子舞の歌詞

京から下つた唐画の屏風ひとえにしやんと獅子舞さような

思いもよらぬ朝霧が降りてそこで牝獅子が隠されたような

なんぼ牝獅子が隠れても青葉のまくれで牝獅子隠れさような

この宿に岩に牝獅子がすむときく岩を崩して牝獅子隠れさような

奥山の松にからまる鳶の葉も縁が切れればほろほろ散るとな

山家の兎は何見て跳る小池の小鮒を見て跳るさような

太鼓の胴をきりりと締めてささらをしゃんと摺りあげさような

◆会員の小泉龍一氏

「敬神功労章」受章

このたび東玉川神社役員としての功労に対して神社本庁より表彰されました。

◆追悼

山口四郎氏(神社総代・責任役員・崇敬会顧問)

平成15年3月4日逝去。享年62歳。

謹んで生前のご尽力に感謝し、衷心よりご冥福を祈ります。

◆平成15年度年会費納入

のお願い

年会費(平成15年4月1日より16年3月31日までの分)を、お手数でも同封の振替用紙でお納め下さい。社務所でも受け付けています。

発行 六郷神社崇敬会

〒144-0046 大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 〇三三三三二二八八九

振替 〇〇一九〇一六一二三五五三

編集 平野 順治